

一生懸命 第二章

「あなた」を支える学年

令和4年12月16日
2学年だより 第8号

12月に「職業人講話」を実施しました。当日は「映像クリエイター」「建築・インテリアデザイナー」「歯科衛生士」「セラピスト」「新聞社」「警察機動隊」「旅行会社」の7名の方をお招きしました。

講師の先生方には以下の観点でお話いただきました。

- ①どのような考えで進路選択をし、どのような取り組みをしている（してきた）か
- ②社会で自立していくために必要なことは
- ③「仕事観」、他者と共に働くこと、社会に貢献することについて

職業人講話を通して、2学年のテーマでもある「これから私たちはどう生きていくか？」の大切にしたい「軸・指針・思考」を書いたので、紹介します。

1組 池本 さん

自分でできることを見つけたら、積極的に取り組んでいきたいです。失敗はたくさんするかもしれないけれど、様々なことにチャレンジする気持ちを大切にしていきたいと考えました。

1組 泉地 さん

私はこれから自分の為だけでなく、他人の為に行動できるような人になりたいと思いました。また他人の意見に流されないようにしながらも、相手の意見を尊重できるようにしたいです。

1組 當間 さん

これからは人とのコミュニケーションを大切にして生きていこうと思いました。人との関わりを大切に、自分だけで何とかしようとするのではなく、他人を頼ることもしながら生きていこうと思いました。

1組 關 さん

人とたくさん話をして、人間関係が上手くいくように、仲間と絆を深められるようにして生きていくことが大切であると学びました。そのためにコミュニケーション能力の向上を目指し、日々活かしていきたいです。

2組 島田 さん

自ら目標を明らかにして、それに向かって他者と協力し、いろいろなことに挑戦する。自分の苦手な分野でも、やり方を考えているいろいろな視点で物事に取り組めるようにしたいです。

2組 田中 さん

1人1人の個性や意見を尊重できるようになりたいです。また何事にもチャレンジをし、得意なこと、好きなことを増やしていきたいです。あいさつを自らすることで、人と仲良くなれたり、話すきっかけを作ったりできるので、今からあいさつをすることを大切にしていきます。

2組 山崎 さん

自分のやりたいことに向けて、自分で逆算して計画を立てたり、優先順位を決めたりし、将来に向けチャレンジしていきたい。また何事にも全力で取り組んでいきたいです。

2組 和久津 さん

自分は「どんなことでも一生懸命に取り組み、周りからも認められてけじめのつけられる人」になりたいです。人との関わり方についても、またその他のことでも、楽しく仕事ができると思ったからです。



3組 中島 さん

僕は、仲間との信頼関係を大切にしていきたいです。仲間がいれば、辛いとき苦しいときでも助けとなるからです。また様々な活動で作業の効率が上がると思ったので、そのように考えました。やると決めたらそれに向かって考えて、行動に移せるような人間になりたいです。

3組 中山 さん

私は思いやりの心を持つことを大切にしていきたいです。それは社会で自立するために必要であると思います。また他者とコミュニケーションをとるときにも大事なことです。そして私は積極的に行動することが苦手なので、「自分の意思」を大事にしていきたいです。

3組 千葉 さん

今は何もできないというわけではなく、1人1人の個性を生かしてそれぞれの得意なこと伸ばして活躍できる時代であることを学びました。失敗しても、毎回落ち込むのではなく、好きなことのために、今できる努力を考えてやっていこうと思いました。

3組 木下 さん

自分がやりたいと思ったことのために、努力して実現できるようにしていきたいです。またいろいろな人と協力したり、自分の考えをまとめたりするのを知りました。そのため学校生活の中でそれらができるようにしたいと思いました。そして困っている人を助けられるような人になりたいです。

4組 慶 さん

失敗を恐れずにチャレンジすることを大切にしたいです。この先数えきれないくらい失敗をすると思うけれど、その失敗を恐れず何事にもチャレンジしていきたいです。また人との関わりを大切にしたいです。様々な人と出会っていく中で、その人たちから学んでいきたいです。

4組 草野 さん

僕は生きるなかで、楽しいときもあれば、辛いときもあります。ですが辛いときでも頑張っていけることが大切だと思います。自分の軸や指針を決め、貫いて頑張っていきたいと思います。

4組 染谷 さん

目標を高くもって、その目標を達成するためにあらゆる努力をしていきたいです。また人の気持ちに敏感になり、コミュニケーションを上手く取れるようにしていきたいです。

4組 江口 さん

将来、仕事をしていく時には、その仕事を必要としている人が求めていることを考える必要があることを学びました。また何事にもチャレンジして、少しでも多くの人に役に立てるようになりたいです。

司会や誘導、謝辞なども生徒たちの立候補で決めました。良い経験になったと思います。ご家庭でも、話題にしてほしいと思います。生徒の感想を紹介します。

1組 誘導 宮崎 さん

誘導をやってみて、社会でのマナーや目上の方への接し方などの、普段味わえない仕事ができよかったです。初めは緊張しましたが、講師の方がやさしく接してくださったので、楽しく講師の誘導という仕事を行うことができました。

1組 司会・謝辞 高守 さん

私は司会や謝辞をやったことがなかったので、最初は不安しかありませんでした。しかし、講師の方は私が話をするときに、私の目を見ながら頷きながら聞いてくださったので、安心して司会、謝辞をすることができました。それらのことが私にとってとても良い経験になりました。今回司会、謝辞ができて良かったと思いました。

1組 謝辞 井上 さん

初めは、謝辞を本当にできるのかが心配で台本の紙を何度も見ていました。本番では結局上手に話すことができなかつたけれどよい社会経験にもつながって、感謝も伝えられたので、今は挑戦してみてよかったと思っています。このような機会があったら、ぜひまた挑戦したいと思います。

1組 謝辞 松尾 さん

初めて、謝辞をやったので、上手にできるか不安だったけれど、自分としてはよくできたと思いました。この講話で「興味があることを深堀りしていくべき」ということが一番心に残りました。この言葉は、私の興味があることについて、これから考えていこうと思うきっかけになりました。

1組 謝辞 柳瀬 さん

謝辞をやってみて、新しい経験をすることができたので私自身の成長となりました。とても貴重な講話を聞くことができてこれからの進路選択に生かしていきたいと思います。今回の講話で職に対しての考え方が変わり自分の将来について考えるよいきっかけになりました。

2組 誘導 本司 さん

今まで、今後の進路をどうするかということを考えてことがありませんでした。今回の講話で、いろいろな業種があることがわかりました。これからは、自分が何をしたいのか、何が得意なのかを考えて、進路を選んでいきたいと思っています。

2組 謝辞 中村 さん

今回、職業人の方たちからお話を伺い、それぞれ職業ごとに大切にしていることに違いはあるけれど「周りを見て行動する」など働く上でどんな職業でも大切なことがあるということを知ることができました。講師の先生方から教えてもらったことを生かし、学校生活を送っていききたいと思います。



3組 司会・誘導 藤田 さん

司会では、2回目になります。緊張して少し大変でした。その分やりがいがあったととてもいい経験になりました。講話では普段聞けない方たちの貴重なお話をいただけて、たくさん学べることで、仕事について詳しいことが知ることができて貴重な時間になりました。

3組 司会・誘導 山本 さん

今回、職業人の貴重なお話を聞いてとても楽しかったです。1回目は質問、2回目は司会、3回目は誘導と役割が多く、今後に向けての良い経験にもなりました。仕事に就く上で、今私たちは何を大事にするかだけでも伸びしろがあることを知りました。また、それが自律することにつながることを学び、「社会を支えてくれる人たちはこんな人なんだ。」と感じました。

3組 誘導・謝辞 松本 さん

私は歯科衛生士の渡邊様（講師の先生）に謝辞を伝えました。今回の講話で学んだこと、そして自分自身の仕事に対する思いなど一つ一つを言葉にのせて伝えることができたと思います。そして私は今回の講話で、職業とは何か、どうしたらそれに就くことができるのか、小さなことから学ぶことができました。私はまだ自分のなりたい明確な夢や目標はありません。しかしそのことを知った今、何をすべきかわかったので、それを胸に一日一日を大切に生きていきたいです。

3組 司会 伊藤 さん

司会をやって大きな達成感を得ることができました。全体をまとめる、いいスタートを切るなどの司会進行の仕方を体験することができました。講話を聞いて、自分の将来に向けて今からできることなど、自分と向き合うことのできる良い機会となりました。

3組 誘導・司会・謝辞 竹田 さん

今回私は、誘導、司会、謝辞を経験させていただきました。どの役割も自分にとって大きな経験となりました。また、いただいたお話どれも貴重なもので、ただただ感心するばかりでした。今回いただいたお言葉を胸に、日々精進していきたいと思いました。

4組 司会・謝辞 松永 さん

私は、司会をする中で濱野さん（講師の先生）と生徒が、アイコンタクトができていたので、集中して話を聞いていると感じました。そして、チャレンジすること、基本を磨くこと、自分で学ぶこと、どれも学校生活で大切なことばかりで、日々の生活態度につながっていくので、日々の態度を改めようとおもいました。

4組 誘導・謝辞 内田 さん

謝辞を言ったときに、最初に思ったのは、直接感謝が言えて嬉しいということでした。お話自体とても素晴らしく、担当しなければ入れ替わりのときに一言、二言だけしか伝えられない所、「謝辞」という枠でありのままの思いが伝えられて嬉しかったです。

4組 誘導・謝辞 鈴木 さん

僕は、謝辞を言う担当になり、少しでも気持ちを伝えるために、講師の先生のお話を一言一句聞き逃さないように、集中していました。そのおかげで講師の先生の素晴らしい講話がしっかり聞けました。セラピストの小松先生からは、挑戦することの大切さを学びました。だから、謝辞を担当できてよかったと思いました。

